

子ども達の笑い声があふれ
大人がやりがいを実感する村に



第17回

杉岡 誠 村長の
愛楽故郷味
あいらくふるさとみ

「年男」の今年です。「辰」の如く、村が力強く隆盛する一年となるよう、精進致します。

皆さまにとりましても、ワクワクに満ちた楽しく豊かな一年でありますよう、お念じ申し上げます。

私の元旦は、毎年「修正会」(しゅしょうえ)から始まります。一年のご恩とご縁に感謝し、心新たに聴聞(ちようもん)につとめる中で「愛楽故郷味」の新年を誓う時です。

12月は多くの皆さまから活動報告を受けました。皆さまのふるさとを想う気持ちが結実して、大きな躍動を生んだ一年となったことを実感しました。お一人おひとりが「飯館村」で「楽しむこと」、「飯館村」を「楽しむこと」が、まさに形となつてきています。私自身、村内外の多くの方々、笑顔に触れる機会をいただき、とてもワクワクした一年を過ごすことが出来ましたこと、心から感謝申し上げます。

本年は、「なりわい」の推進にさらに力を入れて参ります。

「なりわい」は「生業」とも書きます。調べてみると「生計を立てるための仕事、家業、職業」と解説されることが多いようです。でも私は「生きがい、やりがいを実感する業(わざ)」という意味で使っています。子育てのため、家族団らんのため、自分がやりたいことのためなど、様々な「く」のため「なりわい」があると思っています。

そんな様々な「なりわい」づくりに、村民の皆さまとともに村全体で取り組んでいきたいと思えます。

なお今、村は特に「働く場づくり」を強力に、また急速に進めています。これは、子ども達の笑い声にあふれ、やりがいを実感する大人達が賑わい、生きがいを見つけ楽しむ方々が集う村になるための第一歩だからです。

行政的に言えば、企業誘致や起業支援、産業振興、産業創生という言葉になりますが、将来にわたって飯館村が飯館村であり続けるために、今必要なことを、時を逃がさず、しっかりと努めていくことが必要です。で、どうぞより一層のご理解、ご協力を賜れば幸いです。



こんにちは、協力隊の横山です。好きな食べ物は野菜です!先日飯館村でプチトマトや椎茸を栽培している高野靖夫さん・笑子さん夫婦の所に行って来ました。今の時期は椎茸がシーズンで、とっても大きい!肉厚!旨味が凄い!

実は移住ツアーのお昼ご飯や、食堂タイムで椎茸を出した時にお客様から「椎茸好きじゃないけどこれなら食べれる!」「ステーキみたい」と嬉しいお声が沢山。椎茸だけでなく、飯館村には美味しい食材が沢山あると日々実感しています。



今月のライター
地域おこし協力隊 横山 梨沙さん

■ ひとのうごき

結婚おめでとう

氏名	出身地
森 永 卓 弥 さん	前田・八和木
鈴木 瑠 美 さん	郡山市

HAPPY WEDDING!

おくやみ

氏名	年齢	行政区
古川 トミ子 さん	107	飯樋町
石井 アイ子 さん	92	伊丹沢
高野 澄子 さん	80	前田・八和木
大村 文一 さん	71	草野
羽賀 吉光 さん	93	草野
阿部 サキコ さん	76	深谷
鍛治内 シゲノ さん	92	小宮
庄司 孝夫 さん	98	関沢

ご冥福をお祈り申し上げます

(11月21日から12月20日までに届け出のあったものを掲載)
※この欄に掲載を希望しない方は、届け出の時に住民係へお申し出ください。

ひとのうごき 令和5年11月30日現在

人口	今月(前月比)	11月1日~30日までの人口動態
●男	2,358人(-13)	転入 2人
●女	2,335人(-9)	転出 16人
計	4,693人(-22)	出生 0人
世帯数	1,822戸(-7)	死亡 8人
		(住民基本台帳人口)

村民広報委員
ふじおさんの
いいたて **宝さがし**



第18回 二人三脚

謹賀新年。
今回は福島市に新居をかまえる花井勝義さん・妻のフミ子さん(草野)を訪ねてきました。

連絡もしないで突然に訪ねたので、あいにくフミさんは膝の具合が悪く、治療中とのことで不在でした。勝義さんに聞けば「結婚してからずっと一所懸命に働いてくれたのだから、ほんの少し休暇もあっていいし、身体を労ってほしい」と優しい口調で話してくれました。

忙しく美容室を営む当時は、おめでたい花嫁さんの着付けなども多く、神社への送り迎えやそれに伴う男手の仕事もあって、勝義さんは長年勤めていたガソリンスタンドを辞め、美容室の裏方の仕事をするようになったそうです。

53年間ともに二人三脚で美容室で働き、喜びもあり、やりがいのある仕事だと宝話のように話してくれました。「内助の功」ならぬ「夫の功」だと思いました。フミさんも膝が治り次第、また元気に仕事をしたいと話しているそうです。また鏡の前に立つお二人の姿が目浮かびます。

時々、北海道に避難した息子夫婦から送られてくる孫たちの写真が、茶の間の壁の一面にいっぱい飾られていました。

